



世界デフサーフィン大会連盟が、聴覚障がいを持つサーフィンの仲間により、2003年に設立され、デフサーファーの世界を統轄する団体として活動をはじめました。2004年7月には世界デフサーフライダーズ連盟に改名し、2年に1回、国際大会として世界デフ・サーフィンチャンピオンシップを開催。

サーフィンを通じて健康な身体の育成、世界のデフ・サーファーとの親睦を目的として、第一回大会はオーストラリア・フリーリップア

**デフサーフィン
大会について**

聴こえの情報紙

りおめ〜る

**リオネットカップ2007
臨時号**

「サーフィン」という手話

「自由にお持ちください。」

発行元 九州リオン株式会社 営業業務部 092-281-5361

イランドで開催されました。第二回大会として、9月21〜23日、宮崎県の木崎浜で「世界デフ・サーフィンチャンピオンシップ2007」が開催されました。今大会は、ショートボード、ロングボード、ボディボードの3種目で競技が繰り広げられ、世界8カ国114名ものサーファーが日ごろ練習した技を競い合いました。

もちろん我が、リオン(株)契約プロ、甲地由美恵さんもボディボードスクールやブースの手伝いと大活躍でした。

※デフ聴覚障がい者

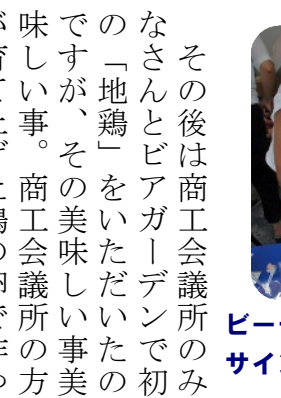
甲地 由美恵
プロボディボーダー
2才で難聴とわかり3才から
リオネット補聴器をつける。
現在重度難聴。
2006年リオネットと
スポンサー契約
現在IBA世界ランキング12位
(日本人4位, 2007年5月現在)



**初のエッセイ
「虹を見上げて」
好評発売中**

その後は商工会議所のみなさんとピアガーデンで初の「地鶏」をいただいたのですが、その美味しい事味が育て上げた鶏の卵で作った出し巻き卵があったんです。それが、それも美味しく、九州リオン株式会社古見社長が勧めてくださいました。「目ばかり」という魚の唐揚げも美味しく、芋焼酎の「霧島」これも本当に美味しく、「これは気をつけないと太るぞ!」と内心思ったりもしました(実際に太りました)。

宮崎弁が心地よく、「次は是非日向で波乗りを!」



**ビーチでも快く
サインに応じる甲地さん**

今回は日向の講演会から始まり、リオネットカップのワールドデフサーフィン大会で締めくくり、5日間を、宮崎で過ごしたのですが、私にとっては生涯忘れられない、大切な思い出となりました。

まず、日向での講演会では、宮崎らしく日に焼けた方々が多く、みなさんとても優しい笑顔で聞いてくださいました。講演会が終わった後には、私の本サンクチュアリ出版『虹を見上げて』をみなさんお買い上げくださったので、サイン会も行ったのですが、どうも、慣れなかったです。恥ずかしいやら、照れるやらで。

**甲地フロから
のメッセージ**

とみなさん言うて下さりました。講演会主催者である金子メガネの阿萬社長は、この講演会のために、沢山のお手紙を書いたとおっしゃっていました。

「人が一杯集まりますように」と。

私はこのお話を聞いたときに心が熱くなって、涙が出てしまったのを覚えていいます。人の心の温かさをしっかりと感じましたね。

私はいつもそうですが、そういう心と心の会話というものに、とても感動します。私の原動力でもある、この人の持つ心の温かさというもの。私にとっても大事だと思います。私も、こんな風に、誰かに接していききたい、また与えられるものならば、与えていきたいとも思っています。

そして、リオネットカップワールドデフサーフィン大会ですが、これもまた素晴らしいかったです。沢山の人の出会い、触れ合い、コミュニケーション。私は昔は人見知りだったので、こんな人と話すのが大好きになるなんて! 自分でも驚くくらい、話すこと、接することが楽しくて、ご飯を忘れるほどでした。無料のジュースに、100円フード。大会ではこんな待遇は滅多にありません。



それに驚きながらも喜んで選手を見て、この大会の素晴らしいさはそういった選手のためのケアもしっかりと出てくるし、一般のお客様にもわかるように、音楽があり、DJがあり、猿回しがあるというところ。で、選手のため、観客のため、宮崎のための、最高の大会であったと思います。

冠スポンサーであるリオネットが大成功に導いたと言っても過言ではありません。

私はそんな素晴らしい大会にスタッフとして参加でき、とても嬉しく思います。ブースでは防水補聴器の説明も行っており、私自身にとっても素晴らしいものがある事を選手や一般の方々にも説明できた事も嬉しく思いました。

大会に挑む真剣なまなざしから、感動と、喜びとが一杯詰まったこの大会。最後は手話の拍手(手を空に上げて振ること)で締めくくりましたが、大成功だったと思います。スポンサーになつていただいたリオネットの皆様、本当にありがとうございました。

表彰式の際に世界中のデフの選手が集まって、この大会を喜び、健闘を讃えあって、心から笑っている笑顔を見たときに涙が出ましたね。

「ああ、凄いな。こんな笑顔が見られるなんて私は幸せだな」そう思っていたら名前を呼ばれていきなりの胸上げでした。

友達に「この大会は最高だったよ。ありがとう」、そう言われました。

こんな素晴らしい大会は他にあつたのだろうか? いや、なかつたなと思えました。

**防水補聴器って
すごいでしょ!**

それ、防水補聴器の説明も行って、私自身にとっても素晴らしいものがある事を選手や一般の方々にも説明できた事も嬉しく思いました。

大会では最高の待遇に導いたと思います。冠スポンサーであるリオネットが大成功に導いたと言っても過言ではありません。

地鶏・たこ焼き・焼きとうもろこし・焼きそば・フランクフルトがなんと100円 安っ!

**ブースのお手伝い
大忙し! はいどうぞ**



大会に挑む真剣なまなざしから、感動と、喜びとが一杯詰まったこの大会。最後は手話の拍手(手を空に上げて振ること)で締めくくりましたが、大成功だったと思います。スポンサーになつていただいたリオネットの皆様、本当にありがとうございました。



**リオネットカップを
振り返って**



九州リオネット株式会社
代表取締役社長
古見 東勝

九月二十一日と二十二日は強烈な日差しとおもえばいきなり大雨でしたが二十三日の最終日は晴天に恵まれ、事故もなく「リオネットカップ世界デフサーフイン選手権大会二〇〇七」が終了しましたこと、関係各位に敬意を表します。振り返ってみますと、大会前日の二十一日はサンマリスタジアム宮崎での参加者選考後、今大会の主旨にご賛同いただいた宮崎大学医学部の東野教授が、参加者を対象に耳のチェックを実施して下さいました。大会当日の木崎浜。和気藹藹で手話でのコミュニケーションは国境など感じさせませんでした。皆さんとても明るく、さすがアスリートです。

リオネットブースには入れ替わり立ち代りの来場者があり、リオネットがスポンサーになって実施したこの大会が皆さんに喜ばれたこと大変光栄に感じました。我々が甲地プロの仲間も部門優勝され、華を添えてくれました。

リオネットの仕事に携わっていてよかったです。皆さんに喜んでいただけよかったです。そんな三日間を宮崎で味わいました。



座談会



座談会のメンバー
竹松 本山 矢野 北島 西元

今大会にはリオネットセンター各店から多くの社員が木崎浜に集まりましたが、その中の5人に感想を聞きました。

西 サーフィン大会を見るのは初めてだった？

竹 普通見に行く機会ってないよね？

北 確かに見たことなかった。サーフィンは他のスポーツと違って相手と戦っているという感じがなかった。

本 うん、相手は人ではなく自然だよ！

矢 なんか、自然に守られている様な不思議な感じがした。

西 サーファーについての感想は？

北 アメリカのダニエル選手が、超イケメンだった。

西 そこですか（笑）



左が噂のイケメン
ダニエル

北 こんなに沢山の外国人を一度に見たのは初めてだった。

竹 サーファー以前の問題やね（笑）

北 みんな自分の国を愛していることがひしひしと伝わってきた。

本 そうそう、国旗を羽織ってビーチに立っているのを見て愛国心を感じたね！



矢 全体的にサーファーはみんなお洒落で、自分の価値観を持っている感じだった。

西 それは心から打ち込めるものがあるからだろうね。

竹 普段お店で補聴器をお使い頂いているお客様に会っている時はお客様様の日常を感じにくいけど、ここでは補聴器や手話はごく当たり前のことではなかったよ。表彰式はとても静かな

セレモニーで厳粛な感じだったけど、静かな中にも熱気を感じる何とも言えない空間だったね。

西 ビーチでの甲地プロはどうだった？

矢 自然や人など、全てのものに感謝していることが伝わってきた。しかもパワフルで生き生きして前向きなサーファーだった。こんな素敵な女性にめぐられたにないよね！

西 僕は甲地プロと猿回しを見ていた時、猿が「キキッ」と小さく鳴くのを見て甲地プロが、「今、猿が鳴いた？猿ってこんなふうに鳴くんだけだ」って話かけられ、猿の声を聞こえて喜ぶ甲地プロを見て、補聴器の仕事して良かったと思った。

竹 この大会は単にスポーツのイベントというだけでなく人と人との絆

を感じる大会で、本当に楽しかったね。

本 次の大会2年後はハワイであるらしいよ！

全 もちろん行くよね！

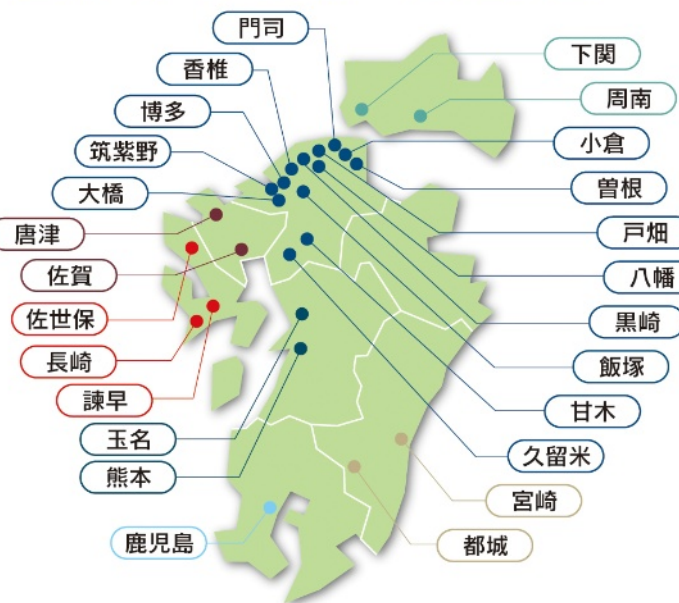
西 いくいく（笑）



甲地さんと応援に駆けつけた九州リオネットのメンバー

— 山口・九州に25店、安心と信頼のネットワーク —

リオネットセンター



☎0120-79-1133
http://www.krion.co.jp/